



平成28年3月期 決算説明資料

本資料は、当社の平成28年3月期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 澤田 秀雄
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	昭和33年(1958年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社
従業員数	〔グループ全体〕5,755名 (当社単体) 6名 (連結子会社) 5,007名 (持分法適用関連会社) 742名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	41,035,407,000円

平成28年3月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕5社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成28年3月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
損害保険	▲ エイチ・エス損害保険株式会社	49.63%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	38.00% ※2
ベンチャーキャピタル	▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	37.59%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	21.38% ※3
【再生ビジネス】		
不動産	● 株式会社アスコット	42.27% ※1

■ 平成27年4月、当社が九州産業交通ホールディングス(株)の株式の一部を売却したことにより(売却後の当社保有株式:議決権比率の5.00%)、同社は平成28年3月期第1四半期より当社の持分法適用関連会社から除外。

■ (※1) 平成27年7月、新株予約権の一部が権利行使されたことにより、当社が保有する議決権比率は42.34%から42.27%となる。

■ (※2) 平成27年8月、株式の一部を取得したことにより、当社が保有する議決権比率は37.81%から38.00%となる。

■ (※3) 平成27年8月、第三者割当増資が実施されたことにより、当社が保有する議決権比率は22.54%から21.38%となる。

■ 平成27年12月、エイチ・エス・フューチャーズ(株)は清算となり、同社は当社の連結子会社から除外。

■ 平成28年3月、オリエント証券(株)は清算となり、同社は当社の連結子会社から除外。

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
▲ エイチ・エス損害保険株式会社	平成17年 設立（平成19年 営業開始）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	平成18年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● 株式会社アスコット	平成21年 第三者割当増資により株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成27年3月期 (平成26年4月～平成28年3月)	平成28年3月期 (平成27年4月～平成28年3月)	前年同期比
営業収益	45,329	55,270	121.9%
純営業収益	23,919	27,849	116.4%
営業利益	9,414	9,967	105.9%
経常利益	9,907	9,957	100.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,527	6,701	102.7%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成27年3月期 (平成27年3月末時点)	平成28年3月期 (平成28年3月末時点)	前年同期比
総資産	394,595	372,446	94.4%
純資産	55,467	61,876	111.6%
現預金	64,418	61,015	94.7%

主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、モンゴル国内の経済成長は減速傾向にあるものの引き続き好調に推移し、前年同期比で増収増益。

営業収益 426億 5百万円 (前年同期比 69億41百万円増)

営業利益 83億97百万円 (前年同期比 5億13百万円増)

- 【証券関連事業】国内株式市場は平成27年8月中旬の株価急落以降、先行きの不透明感が増す中、エイチ・エス証券(株)は前年同期比で減益。

営業収益 40億25百万円 (前年同期比 6億19百万円減)

営業利益 5億75百万円 (前年同期比 5億93百万円減)

- 【不動産関連事業】(株)アスコットにおける物件の売却が前年同期比で増加したことを受け、前年同期比で増収増益。

営業収益 69億22百万円 (前年同期比 33億37百万円増)

営業利益 6億10百万円 (前年同期比 4億12百万円増)

- (株)外為どっとコムは大幅な増収増益を達成したものの、一方では、ソリッド銀行(JSC Solid Bank)の業績悪化やエイチ・エス損害保険(株)の減益、また、九州産業交通ホールディングス(株)の持分法適用関連会社からの除外もあり、持分法による投資損益は3億62百万円(前年同期比2億64百万円減)となる。

- (株)平成28年初めより為替が円高傾向で推移したことにより、為替差損3億44百万円(前年同期の為替差損は66百万円)を計上。

- 投資有価証券売却益13億55百万円(前年同期比64百万円減)を計上。

セグメント別業績

平成28年3月期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	42,605	4,025	1,777	6,922	482	55,270
営業費用	34,207	3,449	1,643	6,312	280	45,303
営業利益	8,397	575	134	610	202	9,967
経常利益	8,397	618	84	499	648	9,957

平成27年3月期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	35,663	4,644	1,436	3,585	510	45,329
営業費用	27,779	3,475	1,361	3,388	237	35,914
営業利益	7,883	1,169	74	197	272	9,414
経常利益	7,883	1,185	40	85	1,012	9,907

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

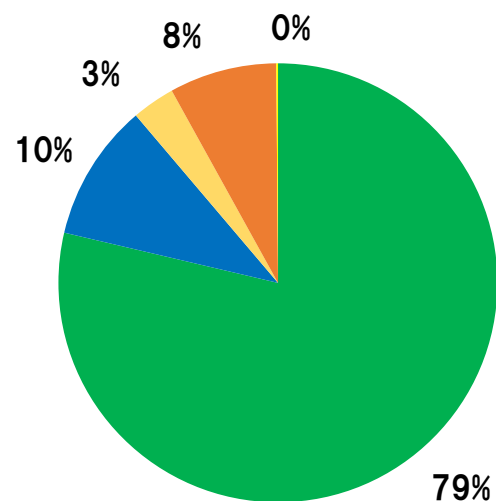
営業収益の構成

事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

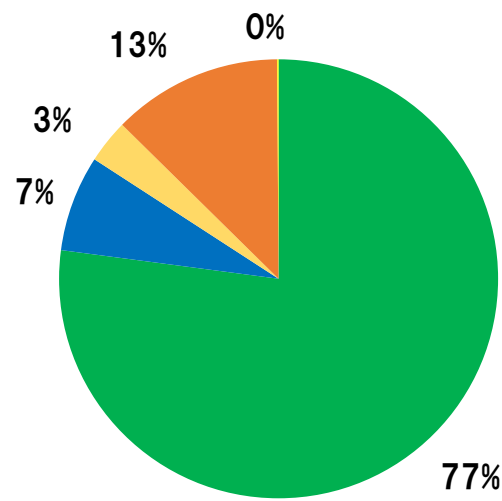
（単位：百万円）

セグメント	期間	平成27年3月期 （平成26年4月～平成28年3月）	平成28年3月期 （平成27年4月～平成28年3月）	前年同期比
銀行関連事業		35,663	42,605	119.5%
証券関連事業		4,588	3,911	85.2%
債権管理回収関連事業		1,436	1,777	123.7%
不動産関連事業		3,585	6,922	193.1%
その他事業		55	54	97.5%
合計		45,329	55,270	121.9%

平成27年3月期
45,329百万円



平成28年3月期
55,270百万円



- 銀行関連事業
- 証券関連事業
- 債権管理回収関連事業
- 不動産関連事業
- その他事業

澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成27年3月期 (平成26年4月～平成27年3月)	平成28年3月期 (平成27年4月～平成28年3月)	前年同期比
営業収益	520	491	94.4%
営業利益	298	238	79.9%
経常利益	408	316	77.5%
当期純利益	1,606	2,879	179.3%
総資産	25,775	26,412	102.5%
純資産	22,681	23,924	105.5%

主な増減要因

- 平成27年4月に九州産業交通ホールディングス(株)の株式の一部を売却したことにより、特別利益として関係会社株式売却益25億14百万円を計上し、当期純利益は前年同期比で大幅に増加。なお、株式の売却により、九州産業交通ホールディングス(株)は第1四半期より当社の持分法適用関連会社から除外された。
- 関係会社受取配当金が前年同期比で減少したこと等により、営業収益・営業利益は前年同期比で減少。
- 受取利息は増加したものの、為替差損の増加もあり、経常利益も前年同期比で減少。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	所在地	資本金	議決権の所有割合	主要事業	期間			
					科目	平成26年12月期	平成27年12月期	前年同期比
ハーン銀行(Khan Bank LLC)	モンゴル国ウランバートル市	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	54.41%	銀行業	Net interest income (純資金運用収益)	241,422	281,053	116.4%
					Net operating income (純業務収益)	271,495	293,286	108.0%
					Profit for the period (当期純利益)	108,024	121,086	112.1%
					Total Assets (総資産)	5,116,074	5,117,165	100.0%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、融資残高は微減となったものの、前年同期比で増収増益。
- 中国の経済成長の鈍化や鉱物価格の低迷等により、モンゴル経済は減速傾向で推移。一方で、世界屈指の銅・金鉱山(オユトルゴイ鉱山)の開発事業において、世界各国の金融機関15行との間で44億米ドルの融資契約が締結された。また、モンゴル初となる経済連携協定(EPA)が日本との間で締結され、両国間の経済関係は強化。
- ハーン銀行は、モンゴルの経済動向を注視し、鉱山や建設・不動産セクターに対して慎重に対応。今後も慎重な姿勢で経営に臨む。
- E-バンキングサービスの推進、モンゴル初となる紙幣還流式ATM(日立オムロンターミナルソリューションズ(株)製)の導入や、ATMを複数台設置した“Express Banking Center”の開設など、更なるサービス向上にも注力。

	平成26年12月末	平成27年12月末	前年同期比	【為替レート】
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	2,744,750	3,005,377	109.5%	平成27年12月末 1円 = 16.57MNT
Loans and advances to customers (融資残高) (百万MNT)	2,971,657	2,913,071	98.0%	平成27年1月~12月平均 1円 = 16.27MNT

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	期間			
		科目	平成27年3月期	平成28年3月期	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	4,644	4,025	86.7%
資本金	3,000百万円	営業利益	1,169	575	49.2%
議決権の所有割合	100.00%	経常利益	1,185	618	52.2%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	当期純利益	1,905	1,389	72.9%
		総資産	45,667	42,387	92.8%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 国内株式市場は、8月中旬の株価急落以降は軟調に推移した中、外貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力したものの、前年同期比で減収減益となった。
- 営業力の強化と新規資金導入に取り組んだものの、預り資産は株価下落を受けて前年同期比で減少。
- 外部環境に左右されない安定的収益の確保、認知度の向上及び同業他社との差別化を目指す。
- 「スマ株」を中心としたインターネット取引ツールの利便性向上に注力し、売買代金シェアの上昇を目指す。
- IPO(新規公開)11社の幹事(うち主幹事1社)に参入。また、2社のTOB(公開買付け)を実施。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	365,205	322,669	88.4%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス損害保険株式会社	科目 \ 期間	平成27年3月期	平成28年3月期	前年同期比
所在地	東京都新宿区	経常収益	3,273	3,010	92.0%
資本金	1,612百万円	経常利益	295	50	17.2%
議決権の所有割合	49.63%	当期純利益	161	19	12.0%
主要事業	損害保険業	総資産	3,693	3,825	103.6%

会社プロフィール

- ① 海外旅行保険を主力商品とする損害保険会社
- ② 平成27年9月、顧客サービス向上のため、海外サポート業務及び事故受付業務を一元化したエイチ・エスサポートセンター(株)を設立。

概況

- 海外におけるテロ事件の発生等の影響から、海外旅行市場を取り巻く環境は厳しく、日本人出国者数が前年同期比で減少したことに伴い、経常収益は前年同期比で減少。また、保険金の増加(責任準備金の増加を含む)の影響もあり、前年同期比で減益。
- 燃油サーチャージの引き下げや五輪開催など海外旅行意欲の回復基調が見込まれることから、主力商品である海外旅行保険の販売推進による増収を目指す。また、代理店の新設による新規獲得を図る。
- ネット海外旅行保険「スマートネットとU」が、「価格.com保険アワード2016」の海外旅行保険の部※において、2年連続第1位を獲得。
※価格.com保険に掲載されている保険商品を対象に、保険募集代理店カカコム・インシュアランスにおける2015年1～12月の契約申込みを集計し、販売チャネル別に最も申込数が多い保険商品を選出。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比
契約件数(累計) (件)	665,337	640,571	96.3%
収入保険料(累計) (百万円)	4,604	4,437	96.4%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	期間			
		科目	平成27年3月期	平成28年3月期	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	1,436	1,777	123.7%
資本金	500百万円	営業利益	74	135	181.2%
議決権の所有割合	100.00%	経常利益	40	85	212.2%
主要事業	債権管理回収業	当期純利益	48	48	101.4%
		総資産	2,064	2,833	137.2%

会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 前期(平成27年3月期)における買取案件からの回収が、担保付債権、無担保・無剰余債権ともに好調に推移し、前年同期比で増収増益。また、積極的な営業展開を継続し、取引金融機関は順調に増加。
- 地域金融機関が行うバルクセールは、落札価額の高止まりは続いているものの、件数及び債権額ともに徐々に増加傾向。
- 債権者から債権の管理回収を受託する「受託型サービサー」から、金融機関等の債権者から債権を直接買取る「買取型サービサー」への事業転換は概ね完了。
- 取引金融機関の件数を増加させるべく、営業人員を増加。また、事業再生案件に取り組むなど、事業の多角化を図る。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	841	1,218	144.8%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	403	332	82.4%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	期間			
		科目	平成27年3月期	平成28年3月期	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	4,459	7,101	159.2%
資本金	778百万円	営業利益	682	2,323	340.5%
議決権の所有割合	38.00%	経常利益	1,076	2,342	217.7%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	当期純利益	691	1,512	218.7%
		総資産	122,340	130,288	106.5%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)が拡大したことに加え、実施した各種施策の成果により新規顧客が増加した結果、前年同期比で大幅な増収増益を達成。
- 12月より、「NZドル/円」をはじめとした13通貨ペアでスプレッドの縮小を実施。「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。
- 高水準のスワップポイントで人気が高い「トルコリラ/円」において、業界最高水準のスワップを提供中。
- 1月よりCMキャラクターに女優の深田恭子を起用し、企業認知度の更なる向上を図る。

	平成27年3月末	平成28年3月末	前年同期比
口座数 (件)	390,356	414,839	106.3%
預り資産残高 (百万円)	106,925	113,096	105.8%

《連結》

(単位:百万円)

商号 (上場市場)	株式会社アスコット (東京証券取引所JASDAQ上場 証券コード3264)	期間		前年同期比	
		科目	平成27年9月期 第2四半期 (10月～3月累計)		平成28年9月期 第2四半期 (10月～3月累計)
所在地	東京都新宿区	売上高	1,491	2,710	181.7%
資本金	1,436百万円	営業利益	85	176	206.5%
議決権の 所有割合	42.27%	経常利益	24	122	507.9%
主要事業	不動産業	当期純利益	20	110	539.6%
		総資産	5,465	5,438	99.5%

会社プロフィール

- ① 創業以来、東京都都心エリアにおいて分譲マンション開発を行う
- ② 得意とする企画開発力を活かし、戸建て・賃貸アパートの開発、中古物件のバリューアップに取り組む

概況

- 分譲マンション(共同事業)1棟、戸建6棟、テラスハウス2棟、土地分譲2件、賃貸アパート2棟、バリューアップ物件2棟及び2戸の売却等により、第2四半期は前年同期比で増収増益。
- 金融緩和を背景として不動産取引は活発化。先行きが不透明な市況において、厳格な投資目線に基づく堅実な仕入れを行い、将来の収益源となる物件の取得を目指す。
- 仕入及び販売体制を強化。今後の成長に向けて、営業体制の拡充、原価の低減による利益率の向上を図る。

【株式譲渡による子会社の異動】

当社は、平成28年4月25日付で当社が所有する(株)アスコットの株式の一部(42.3%のうち32.3%)を、中国平安グループ(平安ジャパン・インベストメント1号投資事業有限責任組合)に譲渡する株式譲渡契約を締結。本株式譲渡により、(株)アスコットは当社の子会社から除外。

ソリッド銀行(JSC Solid Bank)

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	期間			
		科目	平成26年12月期	平成27年12月期	前年同期比
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	Net interest income (純資金運用収益)	765	474	62.0%
資本金	1,569百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)	1,049	487	46.5%
議決権の 所有割合	40.00%	Loss for the period (△) (当期純損失(△))	14	△ 608	-
主要事業	銀行業	Total Assets (総資産)	11,230	11,424	101.7%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 金融費用や不良債権の増加等により、純資金運用収益は前年同期比で減少。非金利収益は前年同期比で大幅に増加したものの、引当金の積み増し等もあり、前年同期比で業績は悪化。
- 欧米諸国の経済制裁や原油価格の下落等により、ロシア経済の低迷は深刻化。実質GDP(1-12月)は前年同期比3.7%減少のマイナス成長に転じた。また、現地通貨(ルーブル)の下落からインフレ率も上昇し、預金金利も上昇した。
- ソリッド銀行は、貸出審査及びリスク管理を大幅に厳格化し、融資残高の増大を抑制。また、非金利収入の増大を図るため、クレジットリスクの低い保証業務等や貴金属取引のサービスの拡大に取り組む。

	平成27年12月末	平成28年12月末	前年同期比	【為替レート】 平成27年12月末 1RUB = 1.67円 平成27年1月~12月平均 1RUB = 1.99円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	8,507	8,925	104.9%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	8,405	6,736	80.1%	

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における決算日(12月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成27年1月～12月(又は12月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		
株式会社アスコット	9月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、連結決算日で実施した仮決算(平成27年4月～平成28年3月)に基づく財務諸表を使用。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成27年10月～平成28年3月の状況を記載(当社連結財務諸表に反映させている期間とは異なる)。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成26年12月期		平成27年12月期	
		期末レート (平成26年12月末)	平均レート (平成26年1月～12月)	期末レート (平成27年12月末)	平均レート (平成27年1月～12月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 15.78MNT	1円 = 17.01MNT	1円 = 16.57MNT	1円 = 16.27MNT
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 2.04円	1RUB = 2.79円	1RUB = 1.67円	1RUB = 1.99円